

～ のんびり遊ぼう ～
ニコニコキャンプ！！



2011 年夏
キャンプ事業報告会

2011 年 10 月 11 日（火）



子どもの心と身体の
成長支援ネットワーク

ご挨拶

感謝の言葉

この度は、私ども「子どもの心と身体の成長支援ネットワーク」の活動にご理解・ご支援いただき誠にありがとうございます。

震災から7ヶ月が過ぎました。被災地の瓦礫は徐々になくなり、復興の道のりを進んでいることが目に見えます。しかし目に見えない心の問題はどうでしょうか。私たちネットワークは、その目に見ることはできない「心の問題」、特にこれから将来を担う子どもたちの心の問題をサポートするために立ち上がりました。

「遊び」の要素を重視した私どものキャンプでは、さまざまなプログラムと、広大な安全な環境の中で思う存分遊び尽くし、また常に寄り添ってくれる若いお兄さん、お姉さんの存在は、子どもたちから絶大な信頼を得ていました。この様な環境を作り出せたことは、多種職の専門的知識を持ったネットワークの互いの得意分野を生かした結果だと思えます。

この先数年、同じような活動をしてまいります。どうぞ末永くこの活動にご理解、ご協力をいただけますよう、宜しくお願い致します。

子どもの心と身体の成長支援ネットワーク会長

古川 貞二郎

「情けは人のためにならず」

この度のニコニコキャンプが大過なく、無事に終了できたことについて、このキャンプをご支援いただいた数知れない市井の人々と企業団体にまずお礼を申し上げたい。さらに、実際にキャンプに参加し、子どもたちに寄り添ってくださったボーイスカウト、ガールスカウトやYCMAの若きリーダーたち、及びスタッフの方々には言い尽くせないほどの謝意をお伝えしなければならない。

この度のキャンプに参加された児童 120 余名の中には、家を流され避難所生活を続けている子どもたちが 20 数名、さらに親を亡くされた子も居られた。リーダーに連れられて、項垂れてとぼとぼと歩く子どもの心中はいかばかりのものなのか？子どもたちに課せられた軛は重く、「キャンプ」という non-professionals による一種の group intervention がその魂にどれだけの安らぎを与えられたかは、数十年の星霜による検証を経なければ分からない。

とは言え、世界中どこの災害や紛争地を見回しても、子どもたちは最もひ弱な体と引きかえに、環境次第では精神的に驚異的なレジリエンスを持っている。そのような「緑の牧草地」をわずかな間ではあったが提供できたことには感謝したいが、果たして子どもたちの胸中にゆっくりと耳を傾けるだけの謙虚さを持ってその友人となり得たかどうか、いくら自問しても胸を張って答えることができない。

その答えはいみじくも、子どもたちが自分たちで歌ったあの歌詞「今、素直な気持ちになれるなら、憧れや愛しさが大空にはじけて光るだろう」に隠れている気がしてならない。「朝が昼の証を示すごとく、幼き時代は成人の証となる」(J. ミルトン、「復樂園」)のごとく、わたし達大人はただ、子どもたちが震災によって失いかけた「素直さ」を取り戻し、将来にわたって人への「信頼」をより強固なものになるよう、今、少しでもお手伝いすることが大切ではないか？

そのためには、支援する側は常に自戒を持って高ぶることなく、情けは人のためにならず、この報告書を胸に、己の心に届いた子どもたちの声無き声を、静かに聴き入る一時を持ちたいものである。

第 1.2 回キャンプ実行委員長 江原 伯陽

<キャンプ準備段階について>

招待地域の設定

今回のキャンプに招待する地域を福島県相馬市周辺と決定（4月下旬）してから、相馬市教育委員会にコンタクトを取り、当ネットワークの趣旨、キャンプの概要等を説明しご協力いただくことになった。6月10日には、ネットワークのボーイスカウト日本連盟の吉村敏氏、ボーイスカウト福島連盟理事長 増子恵二氏、ボーイスカウト相馬第1団団委員長 延原了英氏、同じく相馬第1団 加藤桂子氏が相馬市教育委員会を訪問し、具体的なキャンプ内容等の話を行い、相馬市と教育委員会の後援をいただけることとなった。

地元のバックアップ

今回のキャンプで、大変力強かったことは地元のバックアップが得られたことである。

相馬市教育委員会：相馬市教育委員会の主幹である島義一氏に窓口となっただき、キャンプのお知らせ及び参加者募集、学校の情報等が得られた。

参加児童の小学校：参加する子どもたちが決まった小学校だったため、中村第二小学校、磯部小学校の先生方には、参加者募集、事前資料の配布、バスの乗降等のご協力をいただいた。

地元病院小児科医：第一回目のキャンプには、地元公立相馬総合病院の小児科医である伊藤正樹医師に参加していただいた。伊藤正樹医師は相馬フォロアーチーム（被災小中学校および幼稚園児の今後の望ましい成長を目指して、臨床心理士、保健師をメンバーとした精神的ケアチーム）とのパイプ役として関わって下さり、地元の小児科医として子どもたちの状況を把握しており、第二回目のキャンプでは子どもたちの症状・状態等のアドバイスをいただき、キャンプ終了後のケアの継続もしていただくことができた。

ボーイスカウト：地元のボーイスカウト相馬第1団及び、ボーイスカウト福島県連のバックアップにより、地元の団員がキャンプと一緒に参加していただくことにより、参加する保護者の方には、全く知らない人達に子どもを預けるのではなく、地元の人も参加しているという安心感が得られた。またバスの送迎をお願いした。

参加者の募集、参加者決定について

6月中旬にキャンプ申込みチラシを、教育委員会を通じて相馬市公立小学校の全生徒に配布。6月下旬申込み締め切りで、教育委員会に集約していただいた。その他にも、公立相馬病院、ボーイスカウト相馬第1団等に配布をした。当初は計50名程度の参加を見込んでいたが、集計の結果450名以上の応募があり、協議を重ねた結果、キャンプを計2回（8月1日～4日、8月16日～19日）開催し、教育委員会から推薦のあった被災の激しかった2校の中村第二小学校、磯部小学校からの応募者を招待することとなった。参加できない学校に対し、保護者宛のお詫びのお手紙を各学校に直接持参し、先生方のご理解をいただいた。参加可能となった小学校には、参加者を2回に割り振るために、参加が決定した全員にお知らせを出し、ご理解をいただいた。この経過説明には、中村第二小学校と、磯部小学校の先生方にご協力していただいた。

キャンプ事前研修会

実施日 : 2011年7月3日(日曜日)

場所 : 母子愛育会研修棟4階研修室

出席人数 : 33名

実施内容 : ~のんびり遊ぼう~ニコニコキャンプの事前研修及び、打ち合わせ

研修プログラム

10:30	開会	挨拶、1日のスケジュールの説明、会場の説明
10:40	講義1	各団体の野外活動についての意義
11:00	講義2	災害とボランティア 大江浩(公益社団法人日本キリスト教海外医療協力会総主事)
11:30	講義3	災害で親を亡くした子どもへの理解と支援 奥山真紀子先生(成育医療研究センター)
12:00	お昼	
12:45	講義4	災害後の子どもたち 井出浩先生(関西学院大学人間福祉学部)
13:15	講義5	被災した子どもと関わる 塚本潤一先生(頌栄短期大学准教授)
13:40	講義6	人生の主人公として生きる~大切な人を亡くした子どもたちのケアを考える~ 奈須康子先生(東京小児療育病院)
14:05	講義7	子どもの神秘と遊びの力 田中恭子先生(順天堂大学小児科学教室准教授)
14:25	講義8	“そばにいる”パワー 伊藤麻衣さん(大阪府立母子保健総合医療センター)
14:45	休憩	
14:50	キャンプについて	概要の説明:趣旨等 自己紹介 キャンプの内容・各種注意事項等(交通手段等を含む) プログラムについて 係り決め:プログラムの担当、係り 各係での打ち合わせ
16:00		質疑応答
16:20	閉会	今後のスケジュール等の連絡、質問等
16:30	終了	

キャンプ説明会

実施日 : 2011年7月18日(日曜日)

場所 : 福島県相馬市 はなます館

参加家庭数 : 約50家族

出席者 : キャンプ実行委員長 江原伯陽医師、公立相馬病院小児科医 伊藤正樹医師、
相馬市教育委員会主幹 島義一氏、ボーイスカウト福島県連理事長 増子恵二氏、
ボーイスカウト相馬第一団団委員長 延原了英氏、ボーイスカウト相馬第一団 加藤桂子氏
ボーイスカウト日本連盟 吉村敏氏、事務局 山崎亜子

プログラム ; 1. あいさつ キャンプ実行委員長 江原伯陽医師
2. 当キャンプの主催について
3. キャンプについて
4. 健康カードについて
5. 質疑応答
6. 終了

事前配布物(リュックサック、ナップサック)

キャンプに持っていくカバンが無い等のお問合せをいただいていた。株式会社モンベルより、リュックサック、ナップサックのご提供をいただき、学校を通じて学校登校日に参加者全員に配布した。

<第一回キャンプ実施要綱>

実施期間 : 2011年8月1日(月曜日)から8月4日(木曜日)

場所 : 栃木県那須塩原市西三島7-334

ボーイスカウト那須野営場

参加児童人数 : 72名

内訳 中村第二小学校 64名

磯部小学校 7名

駒ヶ嶺小学校 1名

学年	男	女	計
1年	4	4	8
2年	3	5	8
3年	9	10	19
4年	14	9	23
5年	1	3	4
6年	2	8	10
計	33	39	72

参加スタッフ : ボーイスカウト、ガールスカウト、YMCA、医師、看護師、心理士、チャイルドライフスペシャリスト、ホスピタルプレイスペシャリスト、外部プログラム協力者、他 計104名

参加費 : 無料

プログラム :

8月1日(月曜日) 仲間を知ろう! キャンプ場を知ろう!

8:00 中村第二小学校・磯部小学校 集合

8:20 スポーツアリーナそうま 集合

12:30 キャンプ場到着

12:50 お昼ごはん

13:30 開会式

14:40 グループ作りゲーム

キャンプ場探索

18:00 夜ごはん

19:00 花火大会

21:00 おやすみなさい

「楽しい気持ちで迎えよう。」とのことで、シャボン玉を用意し、バスで到着した子どもたちを迎えました。スタッフも「どんな子どもたちが来るのか。」と、不安でしたが、バスから降りてきた子どもたちはシャボン玉の歓迎をととても喜び、すぐにリーダー(グループに付くお姉さん、お兄さん)と打解けてくれました。初日はグループの旗を作ったり、キャンプ場を探検し、夜は花火大会をしましたが、途中で雨が降りだしました。

8月2日(火曜日) 体を動かそう!

7:00 おはよう!

8:00 朝ごはん

9:00 朝の会

9:30 ニコニコスタンプラリー

12:00 お昼ごはん

休み時間

13:30 ニコニコスタンプラリー

17:00 自由時間

18:00 夜ごはん

19:00 絵本読み聞かせ会、クラフト、お絵かき、花火を見る会

21:00 おやすみなさい

那須野営場の広い敷地内をいっぱい使ったのスタンプラリー。「お医者さんやナースになろう」のコーナーでは実際に救急法の手解きを受けました。「ロープ渡り」や「フリークライミング」、「暗号探し」や「トーテムポールの高さは？（測定法）」をしました。夜の自由時間は読み聞かせやクラフト、花火を楽しんだりしました。

8月3日（水曜日） アーティストになろう！
7:00 おはよう
8:00 朝ごはん
9:00 朝の会
9:30 描いてみよう、塗ってみようペインティング（横断幕作り）
12:30 ランチパーティ
14:30 楽器を作ってみよう
18:00 夜ごはん
19:00 キャンプファイヤー
21:00 おはすみなさい

みんなで力をあわせて、ニコニコキャンプの横断幕をつくりました。名前をサインしてメッセージを書き込み、自分のだという証に手形を残しました。お昼には広場に「ニコニコレストラン」が開店し、ホテルの屋外パーティのような素晴らしいランチが待っていました。午後は楽器作りにチャレンジ。みんなで合奏の練習もしました。夜はキャンプファイヤーを楽しみました

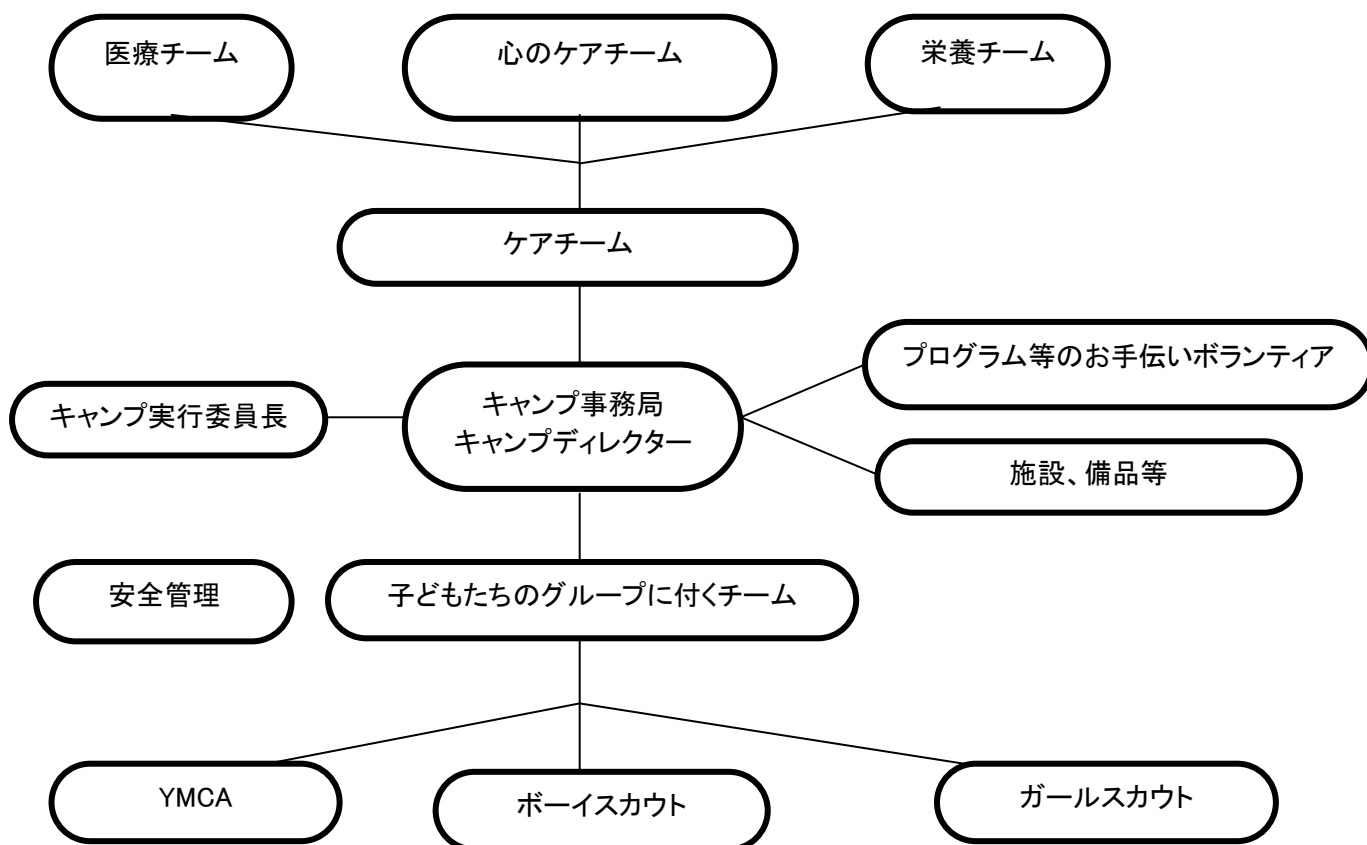
8月4日（木曜日） 思い出作ろう！
7:00 おはよう
8:00 朝ごはん
9:10 積み木で作ってみよう
11:15 お楽しみ会 葉加瀬太郎さんコンサート
12:30 お昼ごはん 閉会式
13:50 バス出発
18:00
～ 到着 ただいま！
18:30

公益財団法人オイスカの積み木のプログラム。約1万個の積み木で遊びました。そのあとは、前日にそれぞれでつくった手づくりの楽器を手に携えて広場に行くと、サプライズで特別ゲスト葉加瀬太郎さんのコンサート。葉加瀬さんの曲はもちろん、子どもたちのためにジブリの曲等を演奏してくれました。そして子どもたちが前日作った楽器を使って「おもちゃのチャチャチャ」を合奏しました。昼食後は閉会式。お兄さんお姉さんから子どもたち1人のメッセージをもらい、バスに乗り家路に向かいました。

全日を通しての取組み等

- ・心のケアチームの自由時間コーナー（自由参加）
心のケアチームが中心となり、人形づくり、万華鏡などのクラフトコーナーを運営した。
- ・観察票
1人1人の観察票を作成。リーダー等が子ども1人1人について感じたこと、気づいたこと等を記載する。
- ・思い出袋
キャンプでの思い出を家に持って帰れるように、袋を用意し、自分が作成したクラフト等を入れて、自宅に持って帰った。

組織図:



<子どもたちのアンケートより>

※ キャンプ終了後郵送にて送付し、任意回答。72名中43名より回答

1	たのしかった？	YES NO どちらともいえない	98% 0% 2%
2	たのしかったことは？	花火大会 キャンプファイヤー ランチパーティ コンサート 楽器作り その他	1位 2位 3位 4位 5位 プログラムではありませんが、 外でのドッチボールが人気
3	食事	美味しかった 美味しくなかった 普通	74% 0% 25%
4	夜眠ることができたか	YES NO どちらともいえない	37% 20% 41%
5	さびしかったことがあったか	YES NO どちらともいえない	14% 81% 2%
6	辛かったことがあったか	YES NO どちらともいえない	7% 90% 2%
7	思いっきり遊ぶことができたか	YES NO どちらともいえない	93% 0% 7%
8	またキャンプに来たいか	YES NO どちらともいえない	90% 2% 7%
9	自由記述欄	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇リーダーに会いたいです。 ・来年もまたやって欲しいです。 ・いつまでもリーダーと友達でいたいです。 ・スタンプラリーのスタンプ集め楽しかった。 ・キャンプにおやつがあると思わなかった。ちょっと家に帰りたかった。 ・肝試しがやりたかったけど、できなくて残念だったけど、とても楽しい4日間でした。またそのような機会があったら行きたい。 ・お兄さん、お姉さんが沢山遊んでくれたので良かった。また会って遊んでもらいたいです。 ・リーダーに「ありがとうございます。家に帰ってからも元気です。」と伝えて欲しいです。 	

<第二回キャンプ実施要綱>

実施期間 : 2011年8月16日(火曜日)から8月19日(金曜日)
事前打ち合わせ8月15日(月曜日)夕方より

場所 : 栃木県那須塩原市西三島7-334
ボーイスカウト那須野営場

参加児童人数 : 46名

内訳 中村第二小学校 45名
八幡小学校 1名

学年	男	女	計
1年	1	0	1
2年	0	3	3
3年	4	1	5
4年	6	7	13
5年	1	4	5
6年	6	13	19
計	18	28	46

参加スタッフ : ボーイスカウト、ガールスカウト、医師、看護師、母子愛育会、外部プログラム協力者、他、計65名

プログラム :

8月15日(月曜日)

17:00~事前スタッフミーティング

前回の反省を踏まえ、事前にスタッフ間のミーティングを行いました。

8月16日(火曜日)

8:00 中村第二小学校 集合

8:20 スポーツアリーナそうま 集合

12:30 キャンプ場到着

お昼ごはん

13:00 開会式

13:30 グループ作りゲーム

キャンプ場探索、荷物移動

18:00 夜ごはん

19:00 花火大会

絵本読み聞かせ

21:00 おやすみなさい

バスから降りてきた子どもたちをシャボン玉で歓迎。お昼食べて開会式。そしてグループに分かれて旗を作ったり、夜には花火大会、絵本の読み聞かせ会がありました。

8月17日(水曜日)

6:30 おはよう!

7:30 体操の時間

8:00 朝ごはん

8:45 朝の会

9:00 葉加瀬太郎さんメッセージビデオ鑑賞
積み木ワークショップ

12:00 お昼ごはん

12:45 外遊び時間

13:30 水鉄砲作り、楽器作り、おやつ

18:00 夕食

19:00 今井絵理子さんミニコンサート

20:00 絵本読み聞かせ

21:00 おやすみなさい

朝の時間はそうじや体操をしました。前回のキャンプに参加してくださった葉加瀬太郎さんのビデオメッセージを鑑賞し、公益財団法人オイスカの積み木のプログラム。タワーをつくったり、ナイアガラの滝をつくったりしました。午後からは、水鉄砲づくりと楽器づくりをしました。できあがった楽器を使って、キャンプに応援に来ていただいた SPEED の今井絵理子さんとみんなで「カエルの歌」の大合奏を行いました。

8月18日（木曜日）

6:30 おはよう！
7:30 体操の時間
8:00 朝ごはん
8:45 朝の会
9:00 スタンプラリー①
12:00 お昼ごはん
13:30 スタンプラリー②
15:30 横断幕作り
18:00 夜ごはん
19:00 キャンプファイヤー
21:00 おやすみなさい

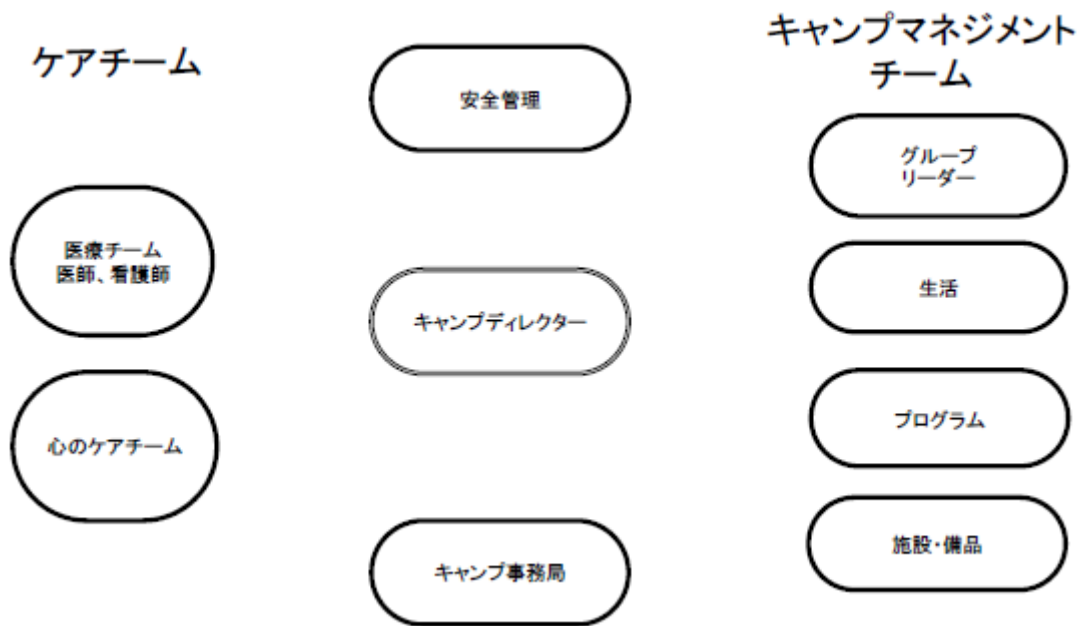
午前中はキャンプ場のなかをめぐるスタンプラリー。グループに分かれて森の中を探検して、途中でさまざまな冒険に挑戦していきます。本物のドクターやナースから救急法を教えてください、クラフトのコーナーではつくったおもちゃですぐに遊んでみたり、フリークライミング、ロープ渡り、火起こし、テント建てを楽しみました。午後には全員で大きな横断幕をつくりました。思い思いのメッセージや手形を残しました。雨が降ってきたので、急遽、室内でキャンプファイヤーを行いました。キャンドルの火がひとつひとつともされて、その明かりのもとで歌やダンス、ゲームやクイズを楽しみました。

8月19日（金曜日）

6:30 おはよう！
7:30 体操の時間
8:00 朝ごはん
8:45 朝の会
9:00 巨大タワー作り
コンサート
12:00 お昼ごはん
12:45 閉会式
13:50 バス出発
17:30
～ 到着 たいだい！
18:00

午前中は、新聞紙を使ってみんなで協力して、立方体のタワー作りをして遊びました。力をあわせてバランスを考えて立ち上がっていきます。そのあとボーイスカウトのお兄さんが仲間とともに管弦楽カルテットのコンサートを開いてくれました。そしてお昼食べて閉会式。お兄さん、お姉さんからのメッセージカードを手渡されました。そしてバスに乗り込み、家路に着きました。

組織図



<子どもたちのアンケートより>

※ キャンプ最終日に配布し、その場で回答してもらった。全員回答。

1	たのしかった？	YES NO どちらともいえない 無回答	89% 0% 2% 9%	無回答のうち75%が問9に関してYESと答えている
2	たのしかったことは？	スタンプラリー 水鉄砲作り 花火大会 キャンプファイヤー 楽器作り	1位 2位 3位 4位 5位	
3	食事	美味しかった 美味しくなかった 普通	52% 2% 43%	
4	夜眠ることができたか	YES NO どちらともいえない	20% 39% 41%	
5	さびしかったことがあったか	YES NO どちらともいえない	20% 70% 7%	
6	辛かったことがあったか	YES NO どちらともいえない	22% 70% 9%	
7	思いっきり遊ぶことができたか	YES NO どちらともいえない	85% 7% 9%	
8	またキャンプに来たいか	YES NO どちらともいえない	85% 0% 15%	この回答のうち86%は問1に関してYESと答えている
9	自由記述欄	<ul style="list-style-type: none"> ・また来年もやって欲しい ・また色々なもの作りたいです ・夜暑くて眠れなかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・いっぱい友達や、リーダーと遊べた ・いろいろな人にサインしてもらって嬉しかった。 ・いろいろな事体験できてとても良かった。とっても楽しかった 	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったけど家族に会えなくて寂しかった ・スタンプラリーまだまだやりたかった

<相馬市教育委員会のコメント>

千年に一度といわれる巨大地震、15mの津波、そして放射能の目には見えない恐怖に襲われた子どもたちは、大自然の中で安心してのびのびと活動することができました。一番安心したのは保護者の方ではないでしょうか。皆様のおかげで相馬の子どもたちは逆境にも負けずたくましくなってきました。本当にありがとうございます。今後ともよろしく願いいたします。

相馬市教育委員会教育長 山田 耕一郎

<参加した学校の校長先生のコメント>

キャンプを経験した子どもたちは、すがすがしい気持ちでバスを降りてきました。葉加瀬太郎さんのヴァイオリンの演奏を聴いたり、今井絵理子さんの手話による会話をまのあたりにしたり、紀子妃殿下にやさしくだっこしていただいたり、震災で気持ちが沈みがちだった子どもたちは、貴重な体験・たくさんの思い出ができたようです。5年生の子どもは、これから宿泊体験を予定していますが、「火おこし」など、ニコニコキャンプの中で経験したことを活用できると、期待感に胸ふくらましております。貴重な体験を企画していただき、お世話いただいたスタッフのみなさまに感謝申し上げます。

相馬市立中村第二小学校長 管野 孝司

ニコニコキャンプの活動を通して、時間を守ろう、これからの活動を考えて、予め準備をしておこうという気持ちが強くなったように感じます。また、下級生の世話を積極的に行うなど、リーダーシップが見られるようになりました。大変お世話になりました。ありがとうございました。

相馬市立磯部小学校長 江口 隆広

<キャンプ後の活動について>

フォトレポートと、写真の送付

参加した子どもたちに、キャンプでの集合写真、グループでの写真をアルバムに入れたものと、保護者の方が、どのような活動をしたかが分かる「フォトレポート」を作成し、送付した。

相馬フォロアーチームとの連携

キャンプに参加し、何かしらのケア等が必要と思われる子どもの情報等を、伊藤医師、教育委員会等を通じて連絡をした。

相馬市への訪問

9月19日に、子どもたちが参加した中村第二小学校、磯部小学校、相馬市教育委員会に訪問し、今回のキャンプの報告を行った。

<協賛団体>

公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 社団法人ガールスカウト日本連盟 財団法人 YMCA 同盟

<後援団体>

厚生労働省 福島県 相馬市 相馬市教育委員会 社会福祉法人読売光と愛の事業団
一般社団法人日本周産期・新生児医学会 日本未熟児新生児学会 新生児医療連絡会 赤ちゃん成育ネットワ
ーク

<物品・資金支援団体>

旭化成株式会社 うちわ
旭化成ファーマ株式会社 台所用品等
大塚製薬株式会社 飲料水と容器
江崎グリコ株式会社 お菓子、食品等
株式会社エムアンドエイチ ミネラルウォーター、文房具、お土産セット、様々な企業との調整
花王株式会社 衛生用品（台所用品、お風呂用品、掃除洗剤等）
株式会社カネボウ化粧品 衛生用品（お風呂用品等）
株式会社カワキタ プラスチックコップ
倉敷紡績株式会社 キャンプタイ
弘昌堂 文房具等
GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 資金援助
福井県経済農業協同組合連合会 白米 60 kg
医療法人自然堂峯小児科 資金援助
新生児医療連絡会 資金援助
ゼビオ株式会社 スポーツ飲料水、ジョグの貸し出し、ジャージ上着
専門家ママ研究所 衛生用品、子どもの衣類等
タイ王国大使館 水筒
株式会社タカラ 暑さ対策グッズ
テスコ株式会社 資金援助
株式会社電通パブリックリレーションズ 企業との調整（食品、衛生品等）
戸田建設株式会社 ミネラルウォーター、資金援助
パラマウントベッド株式会社 資金援助
ピジョン株式会社 衛生用品（除菌ナップ等）
兵庫県小児科医会 資金援助
株式会社ベネッセコーポレーション 絵本
株式会社港屋 資金援助
丸和油脂株式会社 食品
森永製菓株式会社 お菓子
森永乳業株式会社 お菓子、飲料、食品
株式会社モンベル リュックサック、ナップザック
ローソン株式会社 タオル
財団法人日本 YMCA 同盟 ミネラルウォーター
株式会社ワンビシアーカイブズ 資金援助
Solana Highlands Elementary School, Solana Pacific Elementary School, Monterey Ridge Elementary
School, Dr Anthony Pham, DDS. Inc 資金援助

<資金支援個人>

7名の方からご寄付いただきました。

<助成金>

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

